

大型商業施設「アミュプラザおおいた」の吹き抜け空間。温かみのある色温度と適度な輝度で統一。壁面の明るさや、天井面の誘導効果、要所での大型デザイン照明器具の配置により、人を誘引する効果を高めている。

## 高級感を演出するオリジナルデザイン照明

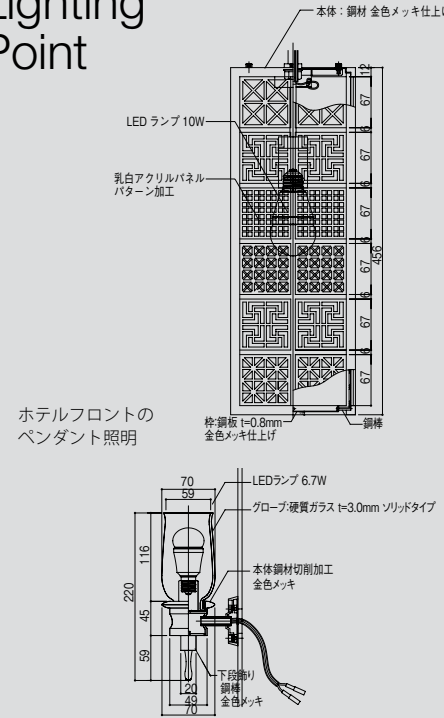
# JR おおいたシティ

JR Oita city

### 物件概要

竣工：2015年4月  
 所在地：大分県大分市  
 施主：九州旅客鉄道株式会社  
 株式会社 JR 大分シティ  
 設計：株式会社日本設計  
 株式会社ドーンデザイン研究所  
 株式会社乃村工藝社  
 施工：株式会社大林組

## Lighting Point



ホテルフロントのペンダント照明

### 光で表現するおもてなし

フロントのペンダント照明のパネルには、組子文様パターンを光の陰影で表現し、細やかなサービスでお迎える気持ちを表



乳白のパネル面に組子パターンの影絵の演出



柔らかな光の質を求め磁の乳白ガラスを採用

現。客室のブラケット照明はガラス職人の手吹きガラスと一品制作の引き物加工の金属との組み合わせで、乳白色の磁を使った柔らかな温かみのある光をつくった。

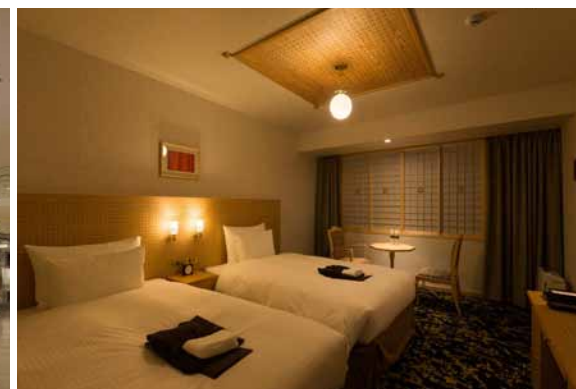
### 特注デザイン照明でつくる特色ある光空間

JR大分駅の新駅ビル。JRのターミナル機能だけでなく、大型商業施設「アミュプラザおおいた」、ホテル「JR九州ホテルブラッサム大分」、温浴施設「シティスパてんくう」、屋上庭園「シティ屋上ひろば」などからなる。最新のLED照明と照明制御技術によって、エネルギーを最大限に活かした設備となっているが、ホテルや商業施設には多くの特色あるデザインがなされている。全体のデザインを水戸岡鋭治氏が担当。施主や設計事務所と共同で忠実に氏のデザインを実現することを試みた。特に、光の質や、演出効果の検証に加え、求められる「こだわり」の具体化のため、特注デザインの商品づくりにも力を入れ、特色ある光空間を実現している。

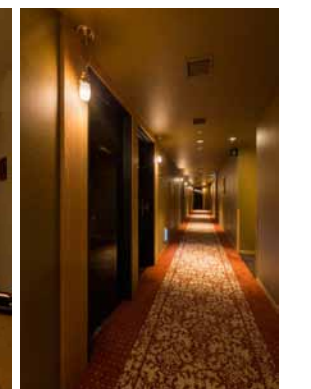
ホテルには、組子細工を取り入れ、部屋ごとに異なった家具やカーペットを採用。客室ペンダント及びブラケット・廊下ペンダント・ロビーペンダント及びブラケットなどに、やや小さめの繊細な細工を施し、光の陰影をさりげなく表現。おもてなしの高級感を出している。商業施設の吹き抜けと通路、フードコートには、ペンダントまたはシーリングを、コンコースと屋上ひろばにはペンダント特注デザイン照明を採用し、空間のシンボル性を強調するようにした。



商業施設「アミュプラザおおいた」



「JR九州ホテルブラッサム大分」の客室



ホテル客室前廊下

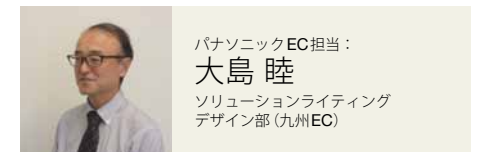


外観夜景。建築デザインと光が新しい大分の顔をつくる。



久保頭 祐二氏  
株式会社 JR 大分シティ

シンボリックな城門、高層タワー、外部エスカレータや五重塔を効果的に照らすよう試行錯誤を重ねました。また、関係者がひとつとなって、内装の細部までこだわりを持って照明環境をつくりました。



パナソニックEC担当：  
大島 睦  
ソリューションライティング  
デザイン部 (九州EC)